

「第50回海岸工学講演会」 2003年11月18日[火]-- 20日[木]

海岸工学講演会は、神戸市でその第1回（昭和29年）を開催して以来、今回で50回を数え、論文発表数、参加者数も年々増加し隆盛を究めております。

今回の発表数は、286編となり下記により東京都・中央大学駿河台記念館において開催することになりました。

つきましては、斯界の研究者、技術者の皆様方、また、今後の斯界を担う院生、学生の方々、多数の参加をお願い致します。

プログラムの詳細は、海岸工学委員会のホームページでもご覧になれます。（<http://www.cvg.ynu.ac.jp/cec/index.html>）

記

- 主催：(社)土木学会（担当：海岸工学委員会）
- 期 日：2003年11月18日(火)~ 20日(木)
- 会 場：中央大学駿河台記念館
（東京都千代田区神田駿河台3-11-5）
第1会場：2階・285号室
第2会場：2階・280号室
第3会場：4階・430号室
第4会場：6階・610号室
第5会場：6階・670号室
【会場までの道のり】
JR「お茶の水駅」東京駅寄り出口から徒歩3分
地下鉄千代田線「新お茶の水駅」B1, B3出口から徒歩3分
地下鉄丸の内線「お茶の水駅」から徒歩6分
- 参加方法：参加無料・参加自由（当日会場へ直接ご来場下さい）
- 発表時間：1題あたり発表時間12分、討議時間8分です。
- 発表用機器：詳細は、海岸工学委員会のホームページでご確認ください。（<http://www.cvg.ynu.ac.jp/cec/index.html>）

中央大学駿河台記念館



【海岸工学論文集第50巻の販売について】

10月10日に完成予定です。
今回より会場で論文集を販売いたしません。必ず事前購入をお願い致します。

- *購入申込方法
10月10日以降に下記のいずれかをお願いします。
11月7日（必着）までに購入申込された方には、講演会に間に合うよう発送します。
個人・名誉・フェロー・学生会員の方は送料が無料になりますので、会員No.を必ずご記載下さい。
FAX：学会誌綴り込み「図書購入申込書」
土木学会ホームページ：
<http://www.jsce.or.jp/publication/frameset.htm>

*問合せ先：
出版事業課 書籍販売係 TEL：03-3355-3445

【懇親会】

今回は第50回海岸工学講演会記念特別シンポジウムにあわせて講演会前日に開催します。

- 日 時：11月17日(月) 19:00 ~ 21:00
- 場 所：ホテル メトロポリタンエドモント
2階「悠久の間」
（JR飯田橋駅東口より徒歩5分）
- 参加費：5,000円
- 申込方法：11月17日(月)、以下のいずれかでお申込ください。
記念特別シンポジウム会場受付
（中央大学駿河台記念館2階）
懇親会場受付
（ホテル メトロポリタンエドモント「悠久の間」入口）

ホテル メトロポリタンエドモント



第50回海岸工学講演会記念特別シンポジウム 「海岸工学の新たな発展に向けて」 2003年11月17日[月]

行事コード：E369
略称：海岸シンポジウム

海岸工学講演会は第50回の節目を迎えることとなりますが、これを記念し、特別シンポジウムを開催致します。我が国の海岸工学のこれまでの発展の歴史、特にその成功の要因と反省点を総括するとともに、現在の海岸工学の置かれている状況と問題点を出来るだけ多角的な観点から洗い出し、それに基づいて今後のあるべき展開方向を探ろうとするものです。この特別シンポジウムでは、我が国の海岸工学のコミュニティーからだけでなく、外部（他分野、海外、行政、市民・NPOなど）からも数多くの講演者をお招きする予定です。つきましては、斯界の研究者、技術者の皆様方、また、今後の斯界を担う院生、学生の方々にはふるってご参加ください。プログラムの詳細は、海岸工学委員会のホームページにも掲載してあります。（<http://www.cvg.ynu.ac.jp/cec/index.html>）

記

- 主催：土木学会（担当：海岸工学委員会）
- 期 日：2003年11月17日(月) 9:00 ~ 18:00
- 場 所：中央大学駿河台記念館 2階281号室
（東京都千代田区神田駿河台3-11-5）
JR「お茶の水駅」東京駅寄り出口から徒歩3分
地下鉄千代田線「新お茶の水駅」
B1, B3出口から徒歩3分
地下鉄丸の内線「お茶の水駅」から徒歩6分
- 定 員：380名
- 参加費：一般：5000円、学生：3000円（いずれも税込）
（当日会場受付で配布予定の講演集代を含む）
- 申込方法：下記のいずれかの方法でお申込下さい。
(1)土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active> から
(2)FAX：海岸工学委員会ホームページに掲載の「本部門参加申込用紙」をご利用下さい。

- お願い
当日の受付は非常な混雑が予想されるため、参加費の当日払いはご遠慮下さい。
請求書類を発行しますので、銀行振込または郵便振替による支払いをご指定下さい。
申込書到着後、10日前後に折り返し「参加券」および「請求書類」をお送り致します。
締切日以降の事前受付は致しませんが、定員に余裕があれば行事当日会場にて受付します。
申込み後、やむを得ずキャンセルをされる場合は、必ず開催日の5日前（土・日・祝祭日を含まず）までに研究事業課（行事受付係：03-3355-3559）へご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますので予めご了承ください。
申込をされる前にご送金頂くことはトラブルの原因となりますので固くお断りします。
- 申込締切日：2003年11月7日（金）【必着】
（締切日以前でも、定員になり次第締め切ります。）
 - 問 合 先 - 土木学会研究事業課・磯崎ひろ子
（メール：isozaki@jsce.or.jp , TEL：03-3355-3559）

プログラム

司会進行役	東京大学	佐藤慎司
開会挨拶	海岸工学委員会委員長	水口 優
		9:00 - 9:05
海岸工学の発展の歴史	武蔵工業大学学長	堀川清司
		9:05 - 9:40
現在の海岸工学が直面する課題	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	磯部雅彦
		9:40 - 10:15
		(休憩)
		10:15 - 10:30
海外における海岸工学 - その現状と課題認識・発展動向	ヨーロッパ：Delft工科大学	Prof. J.A. Battjes
		10:35 - 11:05
	米国：Johns Hopkins大学	Prof. R. A. Dalrymple
		11:05 - 11:40
	アジア：中国・清華大学	Prof. X. Yu
		11:40 - 12:15
		(昼食休憩)
		12:15 - 13:10
他分野から見た海岸工学への注文と期待	水産分野：東京大学大学院農学生命科学研究科教授	日野明德
		13:10 - 13:30
海洋学分野：東京大学海洋研究所教授	杉本隆成	
		13:30 - 13:50
計画学分野：東北大学大学院情報理工学研究科教授	稲村 肇	
		13:50 - 14:10
行政から見た海岸工学への注文と期待	水産庁漁港・漁場部長	田中潤児
		14:10 - 14:30
		(休憩)
		14:30 - 14:45
	国土交通省河川局海岸室長	細見 寛
		14:45 - 15:05
	国土交通省港湾局海岸・防災課長	須野原豊
		15:05 - 15:25
市民・NPOから見た海岸工学への注文と期待	日本自然保護協会常務理事	吉田正人
		15:25 - 15:45
民間企業から見た日本の海岸工学への期待	五洋建設(株)経営管理本部企画部長	清水琢三
		15:45 - 16:05
		(休憩)
		16:05 - 16:20
総合討論「今後の海岸工学の展開方向はどうあるべきか」	司会：京都大学防災研究所教授	河田恵昭
		16:20 - 17:50
話題提供	・他分野との連携戦略：瀬岡和夫 ・海外展開・連携戦略：喜岡 渉	
議論のキーワード	：他分野連携／行政・NPO等との連携／海外展開・連携／大規模共同研究プロジェクト／総合的沿岸域管理／沿岸生態系保全・回復／情報と人のネットワーク／若手研究者・留学生育成, etc.	
閉会挨拶	海岸工学委員会幹事長	瀬岡和夫

第1日 / 11月18日(火)

	第1会場(2階・285号室)	第2会場(2階・280号室)	第3会場(4階・430号室)	第4会場(6階・610号室)	第5会場(6階・670号室)
9:00 9:15	開会式:委員長挨拶 司会: 瀧岡和夫(東京工業大学) CEJ Award 授賞式				
9:20 10:20	司会: 瀧岡和夫(東京工業大学) (33) 有義波高の統計的変動性 - 波別解析法に自由度を導入した理論解 - 北野利一・二宮太一・喜岡 渉・間瀬 肇 (34) 浅海域における現地波浪の波群性と長周期波 堀江岳人・関 克己・水口 優 (35) 島嶼部周辺の波浪のスペクトル特性 吉田明德・横田雅紀・山城 賢・宮本好英	司会: 濱中健一郎(北海道東海大学) (1) 空間や時間に関して積分した積分型非線形波動方程式 柿沼太郎 (2) 長波計算における数値分散性を利用した擬似Variable Grid Systemの提案 嶋原良典・今村文彦 (3) BEMとVOFを結合した波動場解析 藪 曙光・山城 賢・吉田明德・入江 功	司会: 水谷法美(名古屋大学) (126) オンサイト越波計の開発と現地適用性 永井紀彦・平石哲也・服部昌樹 安田誠宏・高山俊裕 (127) 緩傾斜護岸の越波水理特性実験とLES数値計算 鈴木崇之・岡安章夫・田中真史 (128) 波の打上げを考慮した傾斜護岸に対する越波流量算定法に関する研究 間瀬 肇・Terry S. Hedges・Mohamed Shareef・永橋俊二	司会: 重松孝昌(大阪市立大学) (185) 瀬戸内海における湾・瀧間での海水交換量の推定およびその長期変動に関する研究 駒井克昭・竹内健太郎 日比野忠史・松本英雄 (186) 紀淡海峡における流動構造と物質輸送に及ぼす黒潮蛇行の影響 金 漢九・西田修三・中辻啓二 (187) 東京湾の外海水進入に関する数値実験 八木 宏・片岡理英子・山口 肇・藤原建紀	司会: 出口一郎(大阪大学) (89) 礫浜斜面上の流速場と力学特性を考慮した漂砂移動機構に関する研究 水谷法美・馬 賢鎬・江口 周 (90) 砕波乱流下の底質粒子の三次元的挙動及び巻き上げに関する実験的研究 渡部靖憲・秀島賢保・佐伯 浩 (91) 砕波帯内浮遊漂砂量の評価方法 柴山知也・M.P.R. Jayaratne
10:30 11:50	司会: 間瀬 肇(京都大学防災研究所) (36) 港湾・海岸構造物の合理的設計を目的とした確率台風モデルの構築と精度の検討 橋本典明・川口浩二・河合弘泰 松浦邦明・市川雅史 (37) 波浪推算モデルSWANによる伊勢湾台風時波浪の再現 小林智尚・座波慎一郎・安田孝志 (38) Adjoint WAM Cycle5 のデータ同化における評価関数の検討 橋本典明・川口浩二・松浦邦明・宇都宮好博 (39) 内湾域における波浪推算精度向上を目的とした第三世代波浪推算モデルWAMの改良 川口浩二・橋本典明・杉本 彰	司会: 安田孝志(岐阜大学) (4) Level set 法を用いた安定化有限要素法による自由表面流れの数値解析 桜庭雅明・櫻山和男 (5) MPS法よる砕波解析のための自由水面境界条件の改良 後藤仁志・五十里洋行・八木哲生・酒井哲郎 (6) 砂礫混合層を伴う混相流解析のためのDEM - MPS法マルチスケールリンクの開発 後藤仁志・林 稔・安藤 怜 鷲見 崇・酒井哲郎 (7) 二相流体における流力弾性連成解析 陸田秀実	司会: 関本恒浩(五洋建設) (129) 大水深域における非越波型護岸の開発 山城 賢・吉田明德・久留島暢之 井ノ口洋平・入江 功 (130) 非越波型護岸の飛沫輸送特性とその制御方法の開発 上久保祐志・村上啓介・入江 功 吉田明德・山城 賢・竹鼻直人 (131) 岩礁帯に隣接する緩傾斜護岸の越波特性を考慮した保全対策の検討 - 千葉県白渚海岸の例 - 芹沢真澄・宇多高明・清野聡子・峰島清八 高橋和彦・星上幸良・種崎晴信 (132) 伊勢湾海岸保全施設の越波量を指標とした安全性の点検 佐藤 清・柴木秀之・鈴山勝之	司会: 磯部雅彦(東京大学) (188) 有明海における流れと物質輸送に関する現地観測 小松利光・安達貴浩・金納 聡 矢野真一郎・小橋乃子・藤田和夫 (189) 閉鎖性内湾における秋期の水止まり現象に関する現地観測 山本 潤・時吉 学・佐伯信哉・上野成三 (190) 成層期における伊勢湾口での海面温度低下と鉛直混合 大澤輝夫・伊藤秀文・水谷英朗 西部隆一郎・安田孝志 (191) 瀬戸内海の窒素・リンの輸送と起源の現地観測 藤原建紀・小林志保・高志利宣	司会: 佐藤慎司(東京大学) (92) 長周期重複波が発達した砕波帯内での底質浮遊に関する現地観測 栗山善昭・申 承鎬・上岡智志 (93) 多摩川河口域における流れと懸濁物質輸送特性について 八木 宏・大森義暢・高橋垂依 (94) 不規則波による底泥移動と波高減衰に関する実験的研究 柴山知也・榎谷有吾・島谷 学 (95) 平均水面の季節変動が干潟地形に及ぼす影響 柿木哲哉・木下栄一郎・滝川 清 山田文彦・外村隆臣
12:50 14:10	司会: 永井紀彦(港湾空港技術研究所) (40) 波浪推算モデルによる中部国際空港人工島の波浪場への影響評価 小林智尚・樋口喬士・大澤輝夫・安田孝志 (41) 高潮・高波の簡易予測システムの構築とその運用 中平順一・吉田武司・高山知司・間瀬 肇 (42) アンサンブル波浪予測を用いた波浪予測の特性について 森 信人・平口博丸 (43) 極値波高分布の形状特性に対する汎用指標の提案 北野利一	司会: 池谷 毅(鹿島建設) (8) 乱流混合モデルを用いた波・流れ共存場のオイラー平均流速分布解析 梅山元彦・野田有一・三野史朗・井上貴子 (9) 潜り堰近傍における塩水層の波動下での挙動 鈴木智浩・谷本勝利・Phung Dang Hieu (10) 海水交換型防波堤の海水交換量の数値シミュレーション手法 有澤秀則・下山敬次・池淵哲朗 下土居秀樹・中本幸人 (11) 複合防護施設周辺の複雑波浪場に対する高精度数値予測モデルの構築 中嶋光浩・由比政年・間瀬 肇・石田 啓	司会: 窪内 篤(北海道開発土木研究所) (133) 有効周期帯拡大のための異吃水三重式力・テン防波堤の消波特性と断面設定法 中村孝幸・中山哲蔵・河野 徹・久保田二郎 (134) ツイン型浮防波堤の波浪透過特性に関する実験と計算 池末俊一・田村一美・木原一禎・松浦正巳 太田 真・杉 泰広・高山知司 (135) 3次元傾斜型透過堤の海水交換性能に関する実験と計算 池末俊一・熊本直樹・木原一禎 杉 泰広・高山知司・池上慎司 (136) 段階的砕波モデルによる人工リーフ波高伝達率の特性解析 合田良実	司会: 滝川 清(熊本大学) (192) 内湾の海底境界層に存在するフロック沈降速度の現地観測 川西 澄・田原敏博 (193) 河川水中の懸濁粒子の海水混合による凝集・沈降特性 山崎真一・森田真輝・山下俊彦 (194) 有明海西部海域における高濁度層の形成と酸素消費過程 阿部 淳・松永信博・児玉真史 徳永貴久・安田秀一 (195) 有明海における水質変動の支配要因 鯉淵幸生・佐々木 淳・有田正光・磯部雅彦	司会: 清水琢三(五洋建設) (96) 等深線変化モデルの拡張によるx-yメッシュ上の水深変化の計算法 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼 (97) 沿岸・岸沖漂砂による粒径分級を考慮した等深線変化モデル 熊田貴之・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄 (98) 混合粒径砂による離岸堤周辺の海浜変形の実験と計算 酒井和也・熊田貴之・小林昭男 宇多高明・芹沢真澄・野志保人 (99) 等深線変化モデルによる人工リーフ周辺の海浜変形予測 鳥居謙一・福濱方哉・人見 寿 宇多高明・芹沢真澄
14:20 15:40	司会: 堺 茂樹(岩手大学) (44) 北西太平洋における気象要因別波高極値の母分布の推定 野中浩一・山口正隆・畑田佳男・大福 学 (45) 観測誤差を含む極値データから推定した再現確率値の信頼区間について 泉宮尊司・吉田 淳 (46) わが国沿岸における波浪の長期推算資料の相互比較 畑田佳男・山口正隆・大福 学・野中浩一 (47) 湾水振動の非線形数値モデルの開発と形状による港湾の応答特性変化について Asur Baris DERUN・柿沼太郎・磯部雅彦	司会: 真野 明(東北大学) (12) 側岸に沿って植生が繁茂する水路上を伝播する波の変形特性 浅野敏之・松元涼子・菊池誠治 (13) 感潮域における水位応答を利用した河口水深の推定 渡辺一也・田中 仁 (14) 前傾化した波動下での底面せん断力変動特性 Suntoyo・田中 仁・山路弘人 (15) 砂連上の三次元波動乱流境界層流れの力学特性 渡部靖憲・松本 卓・佐伯 浩	司会: 石田 啓(金沢大学) (137) 直立ケーソン式海水交換型防波堤の耐波設計に対する数値波動水路の適用性 藤原隆一・山崎智弘・橋川正男・早瀬松一 安部鐘一・星 秀樹・天野英樹 池谷 毅・秋山真吾 (138) 天端被覆ブロック型護岸の波圧特性に関する現地計測 伊藤一教・東江隆夫・勝井秀博 渡邊和重・山本 悟・高田忠宏・佐藤誠治 竹田春美・山崎耕嗣・馬場利治 (139) 消波工荷重を考慮したL型消波防波堤の耐波設計法の提案 渡邊和重・山本 悟・高田忠宏・佐藤誠治 竹田春美・山崎耕嗣・馬場利治 (140) 斜面スリットケーソン堤の現地波力特性と設計法 山本泰司・窪内 篤・森 昌也 岩本武男・水野雄三	司会: 上野成三(大成建設) (196) 有明海北西部で発生する貧酸素水塊に着目した現地調査 中山哲蔵・佐伯信哉・時吉 学・木元克則 (197) 東京湾三番瀬における微細気泡発生装置を用いた青潮水改善効果の数値的検討 佐々木 淳・小出摩耶子・長田正行 柴山知也・磯部雅彦 (198) 名古屋港の夏季の流況と貧酸素化に関する研究 千葉 賢・杉山陽一・松尾直規 (199) 都市域近傍の閉鎖性水域における貧酸素水塊の挙動に及ぼす気象の影響 入江政安・西田修三・中辻啓二 金 俊憲・湯浅楠勝	司会: 柴山知也(横浜国立大学) (100) 波の遮蔽構造物を有する海岸における3次元静的安定海浜形状の簡易予測モデル 酒井和也・小林昭男・宇多高明 芹沢真澄・熊田貴之 (101) 境界層の変化を考慮した透水性斜面上の漂砂の解析 浅野敏之・Md Azharul Hoque (102) 流体力評価精度の高いDEMの提案と底質粒子初期移動過程への適用 牛島 省・竹村雅樹・山田修三・襦津家久 (103) 遼上域を含む混合粒径底質海浜の三次元海浜変形モデル 本田隆英・佐藤慎司・渡辺 晃・磯部雅彦
15:50 17:10	司会: 池野正明(電力中央研究所) (48) 長周期波の侵入による港内動揺の現地観測と数値計算 西井康浩・高瀬和博・大岡弘樹・鶴崎賢一・松永信博 (49) ステップ状海底地形で発生する長周期自由波について 大橋正臣・濱中健一郎 (50) 高波浪時における波群および長周期波の伝播変形特性 喜岡 渉・武藤一平・林 直正・北野利一 (51) 金沢港内の推砂量とその平面分布の予測 波間純男・高橋政秋・松本祐二 山田貴裕・黒木敬司	司会: 山下隆男(京都大学防災研究所) (16) 風波下の乱流の相似構造と乱流エネルギーの生成・逸散に関する研究 山下裕之・長谷部純・泉宮尊司 黄 光偉・石橋邦彦 (17) PTVによる風波の水面直下の乱れの測定 加藤 始・信岡尚道・村上晴通 (18) 風波によるマイクロブレーキング現象の画像計測 大塚 直・竹原幸生・水谷夏樹 辻本剛三・江藤剛治・高野保英 (19) 海面抵抗係数の波齢および波形勾配依存型評価式の提案 山下裕之・泉宮尊司・長谷部 純 黄 光偉・石橋邦彦	司会: 松見吉晴(鳥取大学) (141) 傾斜堤式管理型護岸の遮水シートに作用する波圧特性およびその評価方法 伊野 同・鶴飼亮行・熊谷隆宏・前野詩朗 (142) 被覆石の被災率に対する確率個別要素法の適用性 伊藤一教・東江隆夫・勝井秀博 (143) 衝撃砕波を受ける消波ブロックの直立壁への衝突現象に関する実験的研究 山口貴之・別府万寿博・大野友則 赤木洋勝・松山明人・富安卓滋 Rudolf Rajar・Milena Horvat (144) 消波工によるケーソン壁面衝突力に関する大規模実験 有川太郎・織田朋哉・黒田豊和・下迫健一郎	司会: 日比野忠史(広島大学) (200) 東京湾における水質動態と底質微生物群集構造の解析 藤田昌史・鯉淵幸生・Odin HASANUDIN 小倉久子・藤江幸一・磯部雅彦 (201) 有明海の過去25年間における海域環境の変動特性 滝川 清・田中健路・外村隆臣 西岡律恵・青山千春 (202) 水俣湾における底泥動態の現地観測 矢野真一郎・多田彰秀・押川英夫・中村武弘 赤木洋勝・松山明人・富安卓滋 Rudolf Rajar・Milena Horvat (203) 多時期Landsatデータを用いた宍道湖・中海のクロロフィルa濃度分布推定 作野裕司・吉田武史・松永恒雄 古津年章・高安克己	司会: 田中 仁(東北大学) (104) 複列潜堤によるシルテーションの高効率防止策に関する研究 小野信幸・入江 功・竹内伸夫 青木 聡・Rahman Hidayat (105) 仙台湾南部海岸におけるヘッドランドの漂砂捕捉率について 槻山敏昭・木村 晃・高木利光・橋本 新 (106) 阿字ヶ浦海岸における最近の急激な海岸侵食の実態解明 横木裕宗・南 陽介・信岡尚道 (107) 高波浪時における汀線近傍の地形変化に及ぼす長周期波と短周期波の役割 島田玄太・内野敬太・関 克己・水口 優

第2日 / 11月19日(水)

	第1会場(2階・285号室)	第2会場(2階・280号室)	第3会場(4階・430号室)	第4会場(6階・610号室)	第5会場(6階・670号室)
9:00 } 10:20	<p>司会：芹沢真澄(有 海岸研究室)</p> <p>(52) 粒子群の運動に誘起される波の生成・伝播機構に関する基礎実験 重松孝昌・小田一紀・赤木統彦</p> <p>(53) 斜め入射する砕波段波の反射特性 松富英夫・今井健太郎</p> <p>(54) 津波により一様斜面上を移動する土砂および津波石に関する水理実験 菅原正宏・大窪慈生・菅原大助 箕浦幸治・今村文彦</p> <p>(55) 臨海部の津波氾濫に関する模型実験 安田誠宏・平石哲也・稲垣茂樹</p>	<p>司会：伊福 誠(愛媛大学)</p> <p>(20) 画像計測による風波界面での気流・水流の相互作用に関する実験的研究 竹原幸生・大塚 直・江藤剛治 高野保英・辻本剛三・水谷夏樹</p> <p>(21) 風波気液界面を通しての二酸化炭素交換量の測定 津守博通・杉原裕司・増田 章</p> <p>(22) 気体流量輸送係数による沿岸砕波帯気液界面での気体輸送評価法の提案 角野昇八・ 関本武史・日引 俊</p> <p>(23) 風波砕波による気泡分布について 森 信人・今村正裕</p>	<p>司会：勝井秀博(大成建設)</p> <p>(145) 陸上遡上津波と漂流物の衝突力に関する実験的研究 池野正明・田中寛好</p> <p>(146) 簡易設置型防波堤(Shore-RIB)による透過率及び作用張力に関する研究 細井寛昭・小林信久・Jefrey A. Melby</p> <p>(147) 振動流と定常流の斜交共存場における円柱に作用する流体力特性 椋田真也・馬替敏治・由比政年・石田 啓</p> <p>(148) 非対称構造物に作用する揚力の発生機構とその直接数値計算法 許 東秀・水谷法美・田 康隆</p>	<p>司会：西田修三(大阪大学)</p> <p>(204) 優占二枚貝を考慮した汽水湖の水質変動解析 西田修三・ 鈴木誠二・山中亮一 金城周平・中辻啓二</p> <p>(205) 長良川河口堰が堰下流域の流動と塩水侵入に及ぼした影響に関する研究 鯉淵幸生・ 有田正光</p> <p>(206) 木曽川河口域における植物プランクトンの冬期変動予測モデル 栗木秀治・中村由行</p> <p>(207) 河口干潟におけるアサリ生息底泥域の水質環境について 井芹 寧・中茂義晶・井上徹教・馬場大哉 平島英恵・渋江吉之・小犬丸智明・小松利光</p>	<p>司会：山下俊彦(北海道大学)</p> <p>(108) 平衡海浜断面形の形成過程とその波浪応答性に関する研究 鳥居謙一・福島雅紀・ 山本幸次</p> <p>(109) 底質粒径の時空間変化を考慮した海浜変形予測について 山下隆男・林健太郎・朴 証昱</p> <p>(110) Xバンドレーダを用いた前浜地形の観測 武若 聡・後藤 勇・西村仁嗣</p> <p>(111) 地形パラメータを用いた干潟断面の季節変動の要因分析 山田文彦・小林信久・柿木哲哉</p>
10:30 } 11:50	<p>司会：後藤仁志(京都大学)</p> <p>(56) 津波氾濫流の植生に作用する各種流体力 今井健太郎・松富英夫・高橋智幸</p> <p>(57) 土石流流下・津波発生・伝播段階における津波数値モデルの改良 後藤大地・ 今村文彦・鴨原良典</p> <p>(58) 海水流動の3次元性を考慮した高潮・津波の数値計算 柿沼太郎・富田孝史・ 秋山 実</p> <p>(59) 確率的台風モデルを用いた潮位と越波量の確率評価 加藤史訓・ 鳥居謙一・柴木秀之・鈴木勝之</p>	<p>司会：岡文章夫(東京水産大学)</p> <p>(24) 超音波反射強度から求めた砕波に伴う気泡連行特性 吉岡 洋・松本昌幸・芹沢重厚・高山知司</p> <p>(25) 砕波下に形成される気泡群と気泡数遷移に関する研究 渡部靖憲・ 山内悠司・佐伯 浩</p> <p>(26) 一様傾斜面上の砕波に伴う気泡混入特性の実験的研究 鷲見浩一・橋本彰雄・岩田好一朗</p> <p>(27) Boussinesq方程式と非線形長波方程式を結合した砕波・遡上の数値モデルの開発 関 克己・水口 優</p>	<p>司会：半沢 稔(テトラ)</p> <p>(149) 高波の波群に伴う消波被覆材の被災特性に基づいた造波信号長について 大野賢一・松見吉晴・児玉広子・木村 晃</p> <p>(150) 消波ブロックの引抜き抵抗力に及ぼす被覆層厚の影響に関する研究 久保田真一・松本 朗・半沢 稔・松岡道男</p> <p>(151) 流速場における混成堤断面の被災状況の相連によるブロック安定性検討 大熊義夫・興野俊也・柴崎尚史・安田勝則・ 中野 修</p> <p>(152) 安定係数による沖合防波堤消波ブロック被覆層の性能照査 平石哲也・ 服部昌樹・稲垣茂樹・鈴木智浩</p>	<p>司会：八木 宏(東京工業大学)</p> <p>(208) 沖縄・石西礁湖における海水流動構造および濁質・淡水・熱輸送特性に関する現地観測 瀬岡和夫・ 三井 順・濱崎克哉 波利井佐紀・田村 仁・鈴木庸吾</p> <p>(209) 環境ストレスとしての赤土懸濁・堆積がサンゴ幼生定着に及ぼす影響 波利井佐紀・瀬岡和夫</p> <p>(210) 東京湾三番瀬の猫実川河口における底質環境の現地観測 呉 海鐘・磯部雅彦・佐藤慎司・渡辺 晃</p> <p>(211) 干潟の温熱・水理環境の評価 喜岡 渉・柿塚愛子・関 信郎</p>	<p>司会：高木利光(アイエヌエー)</p> <p>(112) 熊本白川河口干潟における土砂収支の検討 栗山善昭・滝川 清・櫻園光廣 野村 茂・橋本孝治・柴田貴徳</p> <p>(113) 鮫川・勿来海岸流砂系における土砂動態の長期的変遷に関する研究 阿部真人・佐藤慎司・磯部雅彦</p> <p>(114) 重鉱物分析と放射年代測定との組み合わせによる住吉海岸の堆積環境の推定 三浦一浩・川元環二・鳥居謙一・山本幸次</p> <p>(115) 天竜川河口以西での西向き沿岸漂砂の発達検証とそれに起因する汀線変化 青木伸一・加藤 弘・宇多高明・大隅 一</p>
12:50 } 14:10	<p>司会：松富英夫(秋田大学)</p> <p>(60) 台風による内湾の波浪・高潮の双方向結合推算モデルの構築と台風9918号を例とした追算 河合弘泰・川口浩二・橋本典明</p> <p>(61) 流体直接解析法による臨海部の浸水リスク解析 安田誠宏・平石哲也・ 永瀬恭一・島田昌也</p> <p>(62) アスペリティ起因する南海地震津波の波源不均一性に関する研究 河田恵昭・ 奥村与志弘・高橋智幸・鈴木進吾</p> <p>(63) 海底ケーブル式水圧計により観測されたマイクロ津波の特性 松本浩幸・平田賢治・末廣 潔</p>	<p>司会：後野正雄(大阪工業大学)</p> <p>(28) CIP法とFEMの組み合わせによる遡上波の新計算法に関する基礎的検討 石川忠晴・工藤健太郎・中村恭志・菊籠泰彦</p> <p>(29) 斜面に連続的に作用する内部波の砕波と残差流 中山恵介・Jorg Imberger</p> <p>(30) 離岸流発生を助長するリップチャネルの形態について 柴崎 誠・宇多高明・芹沢真澄 熊田貴之・小林昭男</p> <p>(31) 鳥取県浦富海岸で観測された離岸流の特性 出口一郎・荒木進歩・竹田怜史 松見吉晴・古川泰典</p>	<p>司会：長尾 毅(国土技術政策総合研究所)</p> <p>(153) 捨石傾斜堤被覆石の耐波安定性に関する性能照査法 高橋重雄・ 半沢 稔・下迫健一郎</p> <p>(154) 混成堤の性能照査型設計法における滑動量の許容値設定に関する検討 下迫健一郎・多田清富</p> <p>(155) 越波流量の推定誤差を考慮した護岸の機能設計法について 殿最浩司・高山知司・井上雅夫・田中克彦</p> <p>(156) 袋型根固め材を用いた混成堤マウンド被覆材の耐波設計法 久保田真一・松本 朗・半沢 稔・篠村幸廣 尾池直佳・池谷 毅・下迫健一郎</p>	<p>司会：矢持 進(大阪市立大学)</p> <p>(212) 貫入抵抗値を用いた簡便的な干潟底生生物調査地点の選定手法に関する基礎的研究 上田薫利・上月康則・倉田健悟・大谷壮介 桂 義教・東 和之・堅田哲司・村上仁士</p> <p>(213) 自然干潟における環境因子の空間分布特性 - 広島県賀茂川河口干潟について - 陸田秀実・中村健一・ 網谷貴彰 内田誠一郎・土井康明</p> <p>(214) 干潟底生生物を対象とした物理応答モデルの構築とその試行 宇野宏司・中野 晋</p> <p>(215) 干潟浄化能力の定量的評価手法の提案 日比野忠史・松本英雄 西牧 均・村上和男</p>	<p>司会：宇多高明(土木研究センター)</p> <p>(116) 湘南海岸流砂系の土砂動態と相模川河口地形の変化 福山貴子・松田武久・佐藤慎司・田中 晋</p> <p>(117) 人工リーフと養浜による磯浜海岸の汀線変化の現地調査とその予測 水谷法美・許 東秀・上運天陽次・神谷篤史</p> <p>(118) 修景型孔空離岸堤の汀線保全機能に関する現地検証 藤原謙治・木村 弘・園田泰敏・安部浩史</p> <p>(119) 下新川海岸における侵食計測センターによる養浜変形の現地観測 進藤裕之・松本清則・ 殿本孝央・朝倉邦友・鳥居謙一 山本幸次・高木利光・橋本 新・辺見 聡</p>
14:20 } 15:40	<p>司会：今村文彦(東北大学)</p> <p>(64) レイリー波を用いる津波早期検知手法の提案 井上修作・大町達夫</p> <p>(65) 瀬戸内海における津波の流速・津波高に及ぼす海峡・島の影響に関する一考察 吉田和郎・村上仁士・島田富美男 上月康則・大宅祥弘・大谷 寛</p> <p>(66) 東海・東南海・南海地震の発生特性による広域津波の変化 河田恵昭・ 鈴木進吾・高橋智幸</p> <p>(67) 津波地震の発生原因に関する解析的検証 大町達夫・ 戸畑真弘・井上修作</p>	<p>司会：大山 巧(清水建設)</p> <p>(32) 水難事故予防のための離岸流調査に関する基礎的研究 西 隆一郎・萩尾和央・山口 博 岩根信也・杉尾 毅</p> <p>(262) 観測データに基づく沿岸域風力エネルギーの出現特性 永井紀彦・小川英明・中村 篤 鈴木 靖・額田恭史</p> <p>(263) 外洋性港湾における入出港時の着離岸作業障害に関する研究 笹 健児・久保雅義・白石 悟・永井紀彦 趙 翼順・水井真治・小林 豪</p> <p>(264) 広島湾の異常潮位について 末永正次・松本英雄・ 板橋直樹 三原正裕・梅木康之・磯部雅彦</p>	<p>司会：吉田明德(九州大学)</p> <p>(157) モンテカルロ法による混成堤マウンド被覆石の移動のシミュレーション 松本 朗・半沢 稔・高橋重雄</p> <p>(158) ケーソン連結目地内での流体共振特性とその発生条件 高藤武久・荒木孝之・G.P.Miao・石田 啓</p> <p>(159) フラップゲート型高潮防潮堤の越波と作用波力 川崎浩司・富田孝史・下迫健一郎 高野忠史・ 熱田浩史</p> <p>(160) 消波護岸における越波飛沫の飛散特性と背後道路への影響 木村克俊・ 浜口正志・岡田真衣子・清水敏晶</p>	<p>司会：藤原建紀(京都大学)</p> <p>(216) 干潟の底泥生態系が水質環境に及ぼす影響評価 徳永貴久・児玉真史・松永信博</p> <p>(217) 干潟におけるアオサの消長が生物生息環境に及ぼす影響 工藤教勇・児玉真史・徳永貴久・松永信博</p> <p>(218) 高解像度衛星画像・音響機器を用いた藻場分布推定法に関する研究 中山哲蔵・時吉 学・佐伯信哉・黒萩慎吾</p> <p>(219) 画像計測による海草周辺の水理特性に関する実験的研究 辻本剛三・山田浩之・柿木哲哉・日下部重幸</p>	<p>司会：栗山善昭(港湾空港技術研究所)</p> <p>(120) 混合砂による養浜時縦断形予測モデル 熊田貴之・ 宇多高明・芹沢真澄・小林昭男</p> <p>(121) 歪み砂れんマット(DRIM)による3次元的漂砂制御に関する研究 山口 洋・小野信幸・入江 功 渡部耕平・村瀬芳満</p> <p>(122) DRIMを用いた底質の分級制御に関する基礎的研究 小野信幸・入江 功・迫田史顕・緒方 菊</p> <p>(123) 阿寒湖チュウルイ湾におけるマリモの湖岸打ち寄せ・打ち上げ機構に関する考察 山本省吾・若菜 勇・中瀬浩太・島谷 学</p>
15:50 } 17:10	<p>司会：榊山 勉(電力中央研究所)</p> <p>(68) 新たな海底地殻変動解析による津波評価手法 - 1993年北海道南西沖地震による検証 - 松山昌史・青柳恭平・田中寛好・阿部信太郎</p> <p>(69) 防潮林による津波減衰効果の評価と減災のための利用の可能性 原田賢治・今村文彦</p> <p>(70) 津波・浸水予測に係わる不確実性要素についての考察 諸星一信・難波篤司・磯部雅彦 大下英治・杉浦幸彦・ 木俣 順</p>	<p>司会：富田孝史(港湾空港技術研究所)</p> <p>(265) 超過外力を考慮した総合的な高潮防災の検討 - 駿河海岸を例として - 境 道男・長嶋佳孝・佐々木 元 坂本 弘・山本吉道・川島 理</p> <p>(266) 高潮防災へのリスクマネジメント手法の適用 松田真盛・河田恵昭・永田 茂</p> <p>(267) 津波常襲地域における持続可能な防災教育に向けた防災知識の体系化に関する研究 気仙沼市の高校を対象とした津波防災講座を事例として 柄谷友香・越村俊一・首藤伸夫</p> <p>(268) 津波による人的被害軽減のための避難戦略の評価手法に関する研究 越村俊一・片田敏孝・桑沢敬行・石橋晃睦</p>	<p>司会：小松利光(九州大学)</p> <p>(161) 長周期波対策護岸の性能検証実験 平石哲也・永瀬恭一</p> <p>(162) 渦流制御を利用する海水交換促進型防波堤の効果について 中村幸幸・ 大村智宏・大井邦昭</p> <p>(163) 橋式岸壁の船舶接岸時における変形に関する研究 長尾 毅・ 岩田直樹・岡田達彦・上田 茂</p> <p>(164) 潮位変動に対する飽和/不飽和砂地盤の応答予測 佐々真志・李 風英・ 関口秀雄</p>	<p>司会：清野聡子(東京大学)</p> <p>(220) アマモ実生株の生残条件に関する研究 島谷 学・ 河本 武・中瀬浩太・月館真理雄</p> <p>(221) アマモ生育水域の物質循環に関わる環境因子の特性 今村正裕・松梨史郎・本多正樹・川崎保夫</p> <p>(222) 下流溜沼川におけるヤマトシジミ浮遊幼生の挙動特性 桑原久実・齊藤 肇</p> <p>(223) 有明海奥部のサルボウガイ漁場における炭素固定量の評価 中村義治・ 深町孝子・真崎邦彦 関根幹男・三村信男</p>	<p>司会：鳥居謙一(国土技術政策総合研究所)</p> <p>(124) 植生領域の飛砂と風場に関する実験的研究 有働恵子・武若 聡・西村仁嗣</p> <p>(125) 植物が後浜地形変化におよぼす影響に関する現地調査 柳嶋慎一・上岡智志</p> <p>(180) ケーソン堤の滑動破壊モードに着目した効率的損傷確率算定手法について 興野俊也・赤石沢総光・吉田郁政 鈴木修一・長船 徹</p> <p>(181) ケーソン式混成堤の滑動量に基づくレベル1信頼性設計法 森屋陽一・鷲尾朝昭・長尾 毅</p>

第3日 / 11月20日(木)

	第1会場(2階・285号室)	第2会場(2階・280号室)	第3会場(4階・430号室)	第4会場(6階・610号室)	第5会場(6階・670号室)
9:00 10:20	司会:橋本典明(港湾空港技術研究所) (71)白波砕波を伴う強風時吹送流の平均水面直下の鉛直分布とそのモデル 小笠原敏記・久保田踊児・安田孝志 (72)高解像度ドップラー流速分布計を用いた内湾表層における鉛直混合パラメーターの測定 川西澄・森泰二 (73)密度差の大きい流動場への改良座標系モデルの適用 入江政安・中辻啓二・西田修三 (74)百間川河口水門を含む児島湾の流動解析 前野詩朗・辻風馬	司会:松原雄平(鳥取大学) (269)海岸・河口の自然地形と生態系の海岸保全施設としての評価 - 中津干潟大新田海岸における懇談会の議論と技術検討 - 清野聡子・足利由紀子・佐保哲康・安田英一 平野芳弘・宇多高明・池田薫 (270)海水浴場として利用される砂浜海岸の安全点検調査 井上雅夫 (271)公共海岸事業の選択における専門家と一般市民 柴山知也・川幅嘉文・柴山真琴・佐々木淳 (272)リーフの大規模掘削に起因するバリアーの形成と海岸侵食 宇多高明・大須賀豊・大中晋・石見和久 芹沢真澄・三波俊郎・古池銅	司会:角野昇八(大阪市立大学) (165)浮体式低層取水施設の波浪動揺の低減法に関する研究 中村孝幸・金度三・平岡順次 泉雄士・浅井威人 (166)浮体式空港島による波浪・河川流への影響に関する実験 平石哲也・奥野光洋・鈴木智浩・稲垣茂樹 (167)3次元個別要素法による捨石潜堤の変形予測の試み 荒木進歩・柳原哲也・出口一郎 (168)誘起流速を考慮した直投土砂堆積形状予測係数設定方法に関する研究 荒井清・門田充史・宗田修・出口一郎	司会:古川恵太(国土技術政策総合研究所) (224)養殖漁場(アコヤガイ)における炭素固定機能の全国評価 中村義治・関根幹男・山口毅 湯浅龍彦・阿保勝之・三村信男 (225)現地観測に基づくマングローブ河口域におけるsill形状と海水交換特性の検討 二瓶泰雄・中村武志・網島康雄 (226)開放性砂浜域での港湾構造物建設に伴う物理環境と底生生物群集の変遷 山下俊彦・久野能孝・森信幸 (227)空港島建設に伴う底生魚類群集への影響評価の試み:IBI手法による環境監視データの解析 小出水規行・吉田司・有山啓之・矢持進・玉井恭一 中村義治・入江隆彦・阪上雄康・小谷野喜二	司会:高橋重雄(港湾空港技術研究所) (182)ケーソン式防波堤の滑動破壊における信頼性設計法の制御対象に関する研究 鷲尾朝昭・森屋陽一・長尾毅 (183)海岸保全施設の老朽化実態とその進行モデルの構築 横田弘・岩波光保・関根好幸 (184)海岸保全施設におけるLCM(ライフサイクルマネジメント)の導入検討 難波喬司・横田弘・橋義規 田中樹由・岩田好一郎 (243)環境配慮型岸壁に形成される生物群集構造の評価 横山隆司・小國嘉之・藤原吉美・中原紘之
10:30 11:50	司会:中山哲蔵(水産工学研究所) (75)諫早湾湾口における夏季の流況観測 中村武弘・多田彰秀・矢野真一郎 武田誠・野中寛之 (76)諫早湾潮受け堤防設置に伴う有明海の流況変化に関する研究 千葉賢・武本行正 (77)広島湾の流況と物質輸送に関する数値解析 陸田秀実・内堀博之・市位嘉崇・土井康明 (78)リーフ地形効果に着目した石垣島東岸裾礁域の流動構造に関する研究 田村仁・瀬岡和夫・Enrico Paringit 三井順・波利井佐紀・鈴木庸彦	司会:鈴木靖(日本気象協会) (273)Bali島南部Nusa Dua海岸の侵食と対策 宇多高明・大須賀豊・大中晋・石見和久 三波俊郎・芹沢真澄・古池銅 (274)1998年バプアニュー・ギニア津波を対象としたグリーンベルト防災の効果 平石哲也・岩瀬浩之 (275)常時微動を用いた臨海部表層地盤のS波速度構造の推定に関する研究 長尾毅・紺野克昭 (276)常時微動を用いた護岸舗装直下の空洞の検出に関する研究 長尾毅	司会:中村孝幸(愛媛大学) (169)藻場造成機能を有するスリットケーソンの水理特性に関する研究 島谷学・小堀木鉄平・岩本裕之 (170)実海域における海底砂質地盤の残留間隙水圧の発生と消散過程 佐々真志・高山知司・水谷雅裕・辻健大樹 (171)液状化地盤における進行性凝固 - 波浪エネルギー消散と境界層内物質輸送への適用 - 宮本順司・佐々真志・関口秀雄 (172)大規模水路における波浪による地盤の液状化に関する一実験 鈴木高二朗・多田清富・下迫健一郎 山崎浩之・姜問求	司会:細川恭史(国土技術政策総合研究所) (228)江奈湾の藻場分布データに基づいたアマモのHSIモデル 高山百合子・上野成三・勝井秀博 林文慶・山木克則・田中昌宏 (229)モデル解析に基づく汽水域生態系機能評価 寺澤知彦・中村義治・向井哲也 青木伸一・山下俊彦 (230)ウニ類を対象とした個体群動態モデルの開発 明田良満・桑原久実・中村義治 奥出壮・寺澤知彦 (231)大阪湾におけるマアナゴの分布移動特性と生息地適正評価モデル 中村義治・吉田司・有山啓之 矢持進・玉井恭一・入江隆彦 小出水規行・阪上雄康・小谷野喜二	司会:中野晋(徳島大学) (244)豊かな付着動物相の形成を目指した人工磯の適地選定手法 橋中秀典・井上雅夫・島田広昭 田中賢治・西澤博志 (245)人工干潟の地形変化に関する研究 許東秀・牛木賢司・高木祐介・岩田好一郎 (246)有明海干潟環境の改善・回復に向けた対策工とその効果 滝川清・田中健路・外村隆臣 増田龍哉・森岡三郎・酒井勝 (247)人工的に生成した干潟の成熟性評価に関する研究 川上佐知・羽原浩史・篠崎孝 鳥井英三・古林純一・菊池泰二
12:50 14:10	司会:平石哲也(港湾空港技術研究所) (79)上越・大潟海岸で観測された広域海浜流の再現数値シミュレーション 加藤茂・山下隆男 (80)浅場・干潟域における波浪場を考慮した潮流シミュレーションに関する研究 小澤宏樹・増田光一・大塚文和・居駒知樹 (81)汽水湖への塩分浸入の過程と条件 - 茨城県濁沼流域の現地観測 - 信岡尚道・三村信男・根本隆夫 布目彰一・斎川義則・大竹佑馬 (82)肱川感潮域における高濁度水塊の挙動の数値解析 伊福誠・合田宏隆・中田正人	司会:辻本剛三(神戸市立工業高専) (277)砂浜の分光反射率を用いた大気補正法と沿岸域環境情報の抽出に関する研究 泉宮尊司・松井直也・石橋邦彦 (278)藻場キャノピー光学モデルと高解像度衛星画像による海草藻場のマッピングと現地検証 Enrico C. Paringit・瀬岡和夫・Miguel D. Fortes・波利井佐紀 Jacqueline J. Strachan・田村仁・三井順・中山哲蔵 (279)外洋の広域波浪計測のための遠距離海洋レーダの開発 児島正一郎・佐藤健治・松岡建志・藤井智史 (280)高分解能衛星画像を用いた波浪解析と汀線判読に関する研究 松本定一・柴山知也・島谷学	司会:木村克俊(室蘭工業大学) (173)被圧海底地盤の流動化による護岸前面の捨石群端部の沈下過程 酒井哲郎・後藤仁志・原田英治 井元康文・大野正博 (174)海底地盤の異方向性が海洋構造物の流動変形特性に及ぼす影響とその評価 川村志麻・三浦清一・林秀人・佐々木徹也 (175)波浪のような繰返し力を受ける基礎構造物の支持力向上化に関する研究 三浦清一・川村志麻・林秀人 (176)支持地盤の剛性及び強度変化を考慮した海洋構造物・地盤系の変形解析法 横浜勝司・三浦清一・林秀人	司会:青木伸一(豊橋技術科学大学) (232)中津干潟大新田海岸の保全施設計画時における護岸端部の侵食と河口砂州変動モニタリング 清野聡子・宇多高明・佐保哲康 安田英一・平野芳弘・足利由起子 (233)ニューラルネットワークとカルマンフィルタを組み合わせた植物プランクトン群集密度変動リアルタイム予測 朴容佑・山下隆男 (234)CO ₂ 固定量評価に係わる貝類代謝モデルの開発 - 養殖カキ - 中村義治・奥出壮・寺澤知彦 関根幹男・三村信男 (235)有明海とその周辺地域における近年の気候変動の傾向 田中健路・滝川清・成松明	司会:藤原隆一(東洋建設) (248)大阪湾奥の閉鎖性水域に造成した捨石堤で囲われた干潟の効果と課題 石垣衛・大塚耕司・桑江朝比呂 中村由行・上月康則・上嶋英機 (249)大阪南港野鳥園湿地における物質収支と水質浄化機能の評価 矢持進・柳川竜一・橋美典 (250)富栄養浅海域における生態系の創出 - 人工干潟現地実験場での生物と窒素収支の変遷 - 矢持進・平井研・藤原俊介 原田浩幸・林泰弘・滝川清 (251)諫早湾堤防内底泥の水質浄化能力と塩分の影響
14:20 15:20	司会:浅野敏之(鹿児島大学) (83)河川感潮域における流動と懸濁粒子の動態 川西澄・筒井孝典・西牧均 (84)日本沿岸の内部潮汐波強度の推定 栃木謙一・八木宏・プリラシド (85)補償流を伴わない吹送流におけるラングミュア循環流の特性 鷲崎賢一・松永信博	司会:小林智尚(岐阜大学) (281)立体視とトレーサ追跡法を用いた3次元PTVの開発 長尾昌朋・新井信一 (282)碎波連行気泡特性測定のためのダブルポイドプローブの開発とその適用性の検討 角野昇八・鈴木琢磨・関本武史・日引俊 角野昇八・鈴木琢磨・関本武史・日引俊 (283)GPSブイによる沖合の波浪・津波・潮位観測 永井紀彦・小川英明・寺田幸博 加藤照之・久高将信	司会:下迫健一郎(港湾空港技術研究所) (177)個別要素法による砂地盤を考慮した傾斜堤の変形解析 藤井直樹・興野俊也・安田勝則 中野修・大熊義夫 (178)防波堤基礎での洗掘量の推定について 鈴木高二朗・大寄菜々子・山本泰司 (179)波浪による護岸隣接砂層内の空洞成長過程の3Dシミュレーション 原田英治・後藤仁志・酒井哲郎・鄭知博	司会:松永信博(九州大学) (236)海面から発生する飛来塩分に関する実地観測とその飛来塩分発生・輸送数値モデルの開発 山田文則・細山田得三 (237)石狩湾沿岸海域の水質変動特性と河川水・外洋の影響 山下俊彦・梅林司・隅江純也 山崎真一・柏谷和久 (238)江戸川河口デルタの人為改変と波・流れ環境の変化の数値復元 清野聡子・宮武晃司・芹沢真澄・古池銅	司会:中村義治(水産工学研究所) (252)三河湾の造成干潟および自然干潟に飛来する鳥類群集の観測とシギ・チドリ類が果たす役割 桑江朝比呂・河合尚男・赤石正廣・山口良永 (253)播種・株植が不要なアマモ移植方法の現地実験 上野成三・高山百合子・前川行幸・原奈誠也 (254)現地アマモ場造成試験と適地評価に関する研究 金澤剛・森鐘一
15:30 16:50	司会:喜岡涉(名古屋工業大学) (86)広島湾における季節的な流動外力の特性 駒井克昭・日比野忠史・松本英雄 (87)伊勢湾大気海洋結合モデルの構築とその精度検証 水谷英朗・大澤輝夫・村上智一 小林智尚・安田孝志・藤原建紀 (88)局地気象モデルを用いた瀬戸内圏の風況解析と吹送流の応答特性 陸田秀実・市位嘉崇・秋山佳明・土井康明	司会:泉宮尊司(新潟大学) (284)GPSブイレーン波浪観測システムを用いた大阪湾内うねり伝搬方向の計測 藤井英信・河口信義・石田廣史・出口一郎 (285)碎波表情表現のための粒子法ポストプロセッシングの提案 後藤仁志・橋本麻未・五十里洋行・酒井哲郎 (286)2相流格子ボルツマン法の海岸工学への適用 木原直人・山下隆男	司会:武若聡(筑波大学) (257)台風期における西日本の波浪に関する研究 坂井紀之・岡田弘三 (258)日本沿岸の潮汐調和定数の長期変動特性 中野晋・片岡孝一・宇野宏司 (261)海岸景観評価に関する研究 - CGと感性工学による景観の経済評価 - 松原雄平・青木俊介・熊谷健蔵	司会:五明美智男(東亜建設工業) (239)沖縄本島南西海域におけるサンゴ幼生広域供給過程に関する研究 瀬岡和夫・波利井佐紀・鈴木庸彦・田村仁 三井順・Enrico Paringit・松岡建志・児島正一郎 佐藤健治・藤井智史・池間健晴 (240)徳山湾の環境改善のための現地調査と水理模型実験 山崎宗広・村上和男・松本英雄 出路康夫・森田真治・和田誠 (241)新長崎湾の流動構造に及ぼす流況制御ブロックの影響について 多田彰秀・野中寛之・矢野真一郎・中村武弘 神山泰・小橋乃子・西ノ首英之・小松利光 (242)密度成層場における鉛直循環流誘起堤体の効果に関する研究 重松孝昌・池田憲造・小田一紀・小池敏也 延廣玲子・遠藤徹・藤田孝・戸川進	司会:陸田秀実(広島大学) (255)九州沿岸の環境破壊脆弱性の評価に関する研究 山城賢・入江功・長山達哉・小島治幸 (256)氷盤下の油拡散に関する数値計算 堺茂樹・彭瑜・岡本敦 笹本誠・泉山耕 (259)炭素収支による東京湾産アサリ個体群の機能評価 金網紀久恵・中村義治・上月康則 村上仁士・柴田輝和 (260)我が国における主要貝類の生物量と生物機能の分布特性 中村義治・金網紀久恵・磯野良介・三村信男